

ミスベリング勉強会(4)

～ミスベ(地域)活性化の始め方～

日時:平成30年12月21日(金)13:15-17:15
場所:さいたま新都心合同庁舎2号館5階中研修室5B
参加:22団体57人(自治体14、国7、独法1)

プログラム

- 勉強会趣旨説明 かわまちづくりは、まちから。ミスベリングは人から
【関東地方整備局河川環境課課長補佐 黒沼 尚史】
- 地域活性化企画研修 公務員の地域活性化の実践
【関東地方整備局河川部 部長 佐藤 寿延】
3. 関東観光まちづくりコンサルティング事業
【日本旅行業協会(JATA) 関東支部事務局長 渡辺 泰】
- 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業
民間活動に合わせた自治体の事業化検討を機動的に支援します
【国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官 小池 昌義】
- 石和温泉地域における地域活性化に関する調査
6. 笛吹市かわまちづくり計画の取り組み状況
【山梨県笛吹市政策課・保崎、観光商工課・角田】
- 意見交換



- ・PFIで提案されたものと市民の意見が異なる場合どうするのでしょうか？
→市民ワークショップを何度も開催しています。ワークショップの進行は地域に精通した地域活性化の大学の先生にお願いしました。
- ・タウンマネジメントが重要ということ。
- ・地方では観光になるが、住宅地ならどんな価値が考えられるか？
→現地に行かないと出来ないことで、だいたい同じ事をする。差別化には熱がある地域が強い。
- ・周りに公園位しかない新設駅の施設整備は何から始めればいいのか？
→バスが留まれる駐車場。トイレも併設。パークPFIや都市再生整備計画で公園法・道路法・河川法を同時に規制緩和するのも手



佐藤河川部長



渡辺事務局長



小池専門調査官



政策課保崎



笛吹市
観光商工課角田

笛吹市
政策課保崎

- ・地域活性化は、持続することが重要で、雇用が発生するキャッシュフローが大事
- ・夢を売る事業は、万人受けはしない。個人のリピーターが増えている中、団体旅行を見直し、教育体験旅行の可能性などに期待している。
- ・宿泊施設の少ない地域でも民泊がミスベリングの可能性を広げるのではないか。
- ・施設整備+PFIを重点支援。予備設計段階+民間連携が決まっていることが重要

